



理事会後、埼玉県管工事業協同組合連合会青年部協議会の活動報告を埼玉県青年部会長の田中氏が行いました。「埼玉県の活動は給水装置工事配管技能検定会の検定員や、技能検定（建築配管）準備講習会の講師・補佐員として活動



埼玉県連青年部 活動報告

し、これから担い手が一人でも多くいて欲しいと願いまして、今後も活動していきたいと思います。」と力強く述べられました。

新体制となり今後も廣田会長のもと、全国の皆様と知恵を出し合って、全国組織ならではの活動を続けていきたいと思います。全国の皆様と再会することを心より楽しみしております。

全管連青年部協議会

アヒルのたまご

<https://www.zenkanrenjr.jp>

令和6年
(2024)
1月15日
月曜日

No 79



2024年 年頭のご挨拶



参加者集合写真

編集
後記

新年明けましておめでとうございます。これから本格的に廣田年度のスタートになりますが、今までコロナ禍で出来なかった事を少しづつ通常に戻しつつ色々な事業を行い、更なる業界の発展に繋げて行ければと思います。また山形での総会が通常開催で終わり、初めての理事会が私の地元さいたまの地で開催出来た事、非常に嬉しく思います。これからも会員一丸となって管工事業界の発展に尽力してゆきたいと思っております。

総務部会長 増田 喬歲（埼玉）



廣田会長

新年あけましておめでとうございます。皆様方には令和6年の新春をお健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素は全国管工事業協同組合連合会青年部協議会の活動に対し、皆様から温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の8月に開催した山形総会は北海道総会以来、実に4年ぶりの通常開催となり、全管連藤川会長はじめ、来賓や賛助会員の方々も含め約260名の参加を頂きました。久しぶりの通常開催ではありましたが、開催地の山形市青年部の皆さまのご尽力と親組合のご協力により、成功裏に終えることができました。改めて、全管連青年部協議会は多くの仲間と関係者によって支えられていることを実感した総会となりましたことに心より御礼申し上げます。

さて、2019年4月より、順次施行されている働き

方改革関連法ですが、今年4月より猶予されていた時間外労働時間の上限規制が建設業界にも適用されます。これらのことからも我々は今、これまでの働き方を抜本的に見直す必要性に迫られていると考えています。

少子高齢化により労働人口が減少している中で、建設業界のみならず各業界労働人口の確保、そして担い手の確保は喫緊の課題となっています。このような状況のなかで管工事業が多くの中若者から選んでもらえる業界となるべく、時代に合わせて変化をしていかなければならぬと思います。これまでの事柄をよく調べ学び研究し、そこから得た知識を柔軟な発想のもと時代に即した形にしていく事は、現在の青年部世代に期待されている事の一つだと認識しています。

当会では近年、担い手に関する事業にも注力をしており、業界のイメージアップや全国各地で行われている活動の情報収集と発信に取り組んでおります。現場の最前線で働いている世代だからこそ、気づける事や発信できる魅力、情報が多くあると考えています。管工事業界がより良い方向へ向かっていくためには、全国の会員と交流を深める事で得られた情報をもとに知



アクアセラミックが、
トイレに新世紀を告げる。
100年クリーン

トイレの汚れが、ツルンっと落ちる。 リング状の黒ずみ、くすみとサヨナラ。 新品時のツルツルが、100年つく。*

* 同一部位の摩擦回数2往復で年間365日お掃除した場合。お掃除ブラシで約7万回(100年相当)の往復を想定しています。

**GOOD DESIGN AWARD 2016
GOLD AWARD**

株式会社 LIXIL

お客様相談センター ☎ 0120-179-400 受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00

見を広げ、必要とされる事を各所に発信していく事が大切だと思っています。

管工事業の明るい未来に向け、本年も青年部らしさをもって様々な活動に取り組んでまいります。

最後になりますが、会員皆様の大いなるご活躍をお

祈り申し上げるとともに、親組合の皆様ならびに関係各位の皆様には、これまで以上のご支援・ご協力を切にお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会

会長 廣田 勝義



第 14 期新役員

**低層集合住宅用
複式メータボックス 樹脂製 クワトロ-II**

省施工
メータユニット一体型で
1つのメータボックスに
最大4つの量水器を設置可能!

施工性向上
狭い所でも配管可能!

ソケット不要

耐震化製品

大人気!

樹脂製 クワトロ の2次側がバージョンアップ!
自由に動く
可とう継手!

4系統タイプ

「水」の安心・安全をお届けしています。
株式会社タブチ

商品のお問い合わせは
0120-481-130 TBC WEBカタログ

検索機能充実の
タブチ WEB CATALOG

ホームページはこちら

TEL 06-6708-0150㈹ FAX 06-6708-0210

支店・営業所 北陸:盛岡・仙台・高崎・新潟・新潟・土浦・さいたま・北多摩・東京・横浜・静岡・金沢・名古屋・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・松山・福岡・鹿児島・沖縄

第139回理事会をさいたま市で開催



第 139 回理事会

11月25日(土)、全管連青年部第139回理事会がさいたま市の埼玉県管工事会館で開催され、全国から理事、監事の24名の出席がありました。

理事会は増田総務部会長(埼玉)の司会で始まり、最初に廣田会長(宇都宮)のご挨拶がありました。続いて議長に安宅総括副会長(高知)が選任され、議事録作成人に事務局依田主任、議事録署名人に長田理事(横浜)がそれぞれ選任されました。

その後議事に移り、議長 安宅総括副会長の進行で、総務部と事業部の事業報告並びに事業計画の協議、審議を行いました。

最初の議題として8月に開催した山形総会の決算の説明を白田理事(山形)より行い、関連行事のマタニティー体験事業についてアンケートに基づき田母神総務副会長(東京)より報告がありました。続いて次年度金沢総会について、吉崎理事(石川)より現在の準備状況を説明して頂きました。石川県では500名の参加を目標に準備を進めていると報告があり、これまでに無

い規模の目標参加人数に地元だけでなく、全国の会員一丸となり多くの方が参加することで、人手不足や物価高騰などの困難の中、業界を盛り上げていく事に繋がるのではないかと感じました。石川県青年部の皆さんにはかねてより準備を行って頂き、心より感謝申し上げます。総会で皆様とお会いするのがとても楽しみです。

続いて、総務部と事業部の新年度の事業計画についてそれぞれ確認し慎重に審議が行われました。総務部からは広報関連事業アヒルのたまご、全管連ジャーナルへの寄稿、ホームページの更新について、事業部からは、橋本総業みらい市への参加の報告、そして今後予定されている日管連青年部との意見交換会の事業内容の説明がありました。そして新たに立ち上げた研修関連事業として、関連メーカーによる説明会の実施概要などの審議がありました。

全ての議事が無事終了し、田中監事(横浜)による監事講評が行われ理事会は無事終了しました。